

# 目次

BeoLab 1は、2つの箱に梱包されています。1つの箱にスピーカー、もう一方の箱にベースプレートが入っています。

このユーザマニュアルでは、BeoLab 1スピーカー本体にベースプレートを取り付け、配線し、設置環境に合わせてフィルタリングレベルを調整するまでの手順を説明します。また、BeoLab 1スピーカー設置上のガイドラインを示します。

## BeoLab 1スピーカーのセットアップ

### 4 セットアップの前に

ご注意 スピーカーをセットアップする前に、必ずここに記載されている内容に目を通してください。

## ベースプレートの取り付け

### 5 組み立て

### 5 ラバーフットの調整

## ケーブル配線

### 6 バング&オルフセン製品との接続

### 7 他社の製品との接続

### 7 電源との接続

### 7 ケーブル配線 —— ケーブルカバー、ケーブルクランプを使用

## 設置環境に応じたBeoLab 1の調整

### 8 Speaker Positionスイッチの設定(フィルタリングレベル)

## 使用上のご注意

### 10 スwitchのオン/オフ —— インジケータ

### 10 スピーカーの保護

### 10 BeoLab 1の手入れ

## BeoLab 1スピーカーのセットアップ

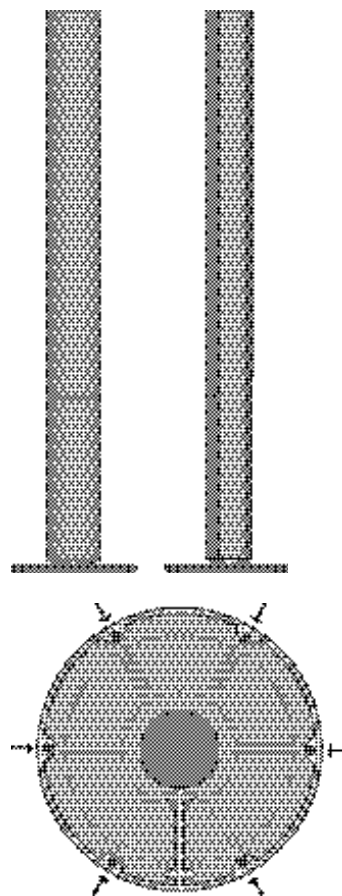
BeoLab 1スピーカーのセットアップは、以下の手順に従って行ってください。

- 1 箱から製品を取り出し、5ページの説明に従ってスピーカー本体とベースプレートを組み立てます。
- 2 バング & オルフセン製システムの電源を切ります。
- 3 6～7ページの説明に従ってスピーカーを接続します。
- 4 8～9ページの説明に従って、各BeoLab 1スピーカーのL・R・LINEスイッチとSpeaker Positionスイッチを正しく設定します。
- 5 組み立てたBeoLab 1スピーカーを持ち上げて設置します。各スピーカーの設置場所については、8～9ページを参照してください。
- 6 2つのスピーカー（およびシステム）を電源に接続します。これで音楽をお楽しみいただけます。

### セットアップの前に

セットアップの前に、以下の要点を確認しておいてください。

- BeoLab 1は、必ずこのマニュアルの指示に従って設定（設置および接続）してください。
- BeoLab 1は、ぐらつかない、安定した場所に設置してください。
- BeoLab 1は、乾燥した室内、10～40° C（50～105° F）での使用を前提としています。
- すべてのスピーカーは、セットアップ時に電源コンセントに接続する必要があります。また、スピーカーのスイッチが自動的にオンになるようにするためには、常時電源に接続しておく必要があります。
- ケーブルを接続し終わらないうちに、システム内の装置の電源をオンにすることは絶対に避けてください（6～7ページ）。
- BeoLab 1の最上部には小さな開口部があります。この開口部は、BeoLab 1アンプの排熱を目的としたものです。この開口部をふさいだり、BeoLab 1スピーカーを移動させる際の「持ち手」として使用することは避けてください。
- BeoLab 1は分解しないでください。修理が必要な場合は、専門のサービス要員にご連絡ください。

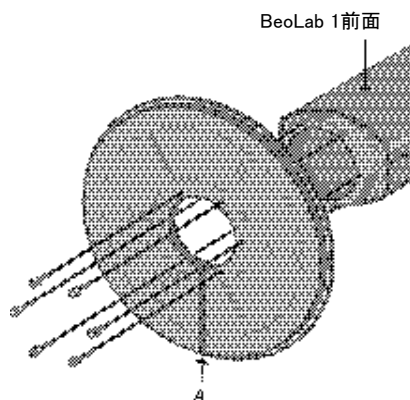
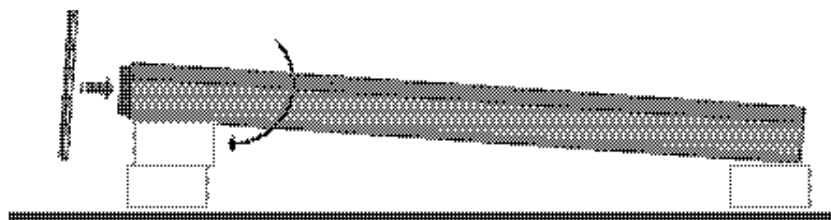


BeoLab 1の底面図です。パネルには、ソケットとスイッチが付いています。ソケットとスイッチの使用法および使用目的については、7～9ページを参照してください。

## ベースプレートの取り付け

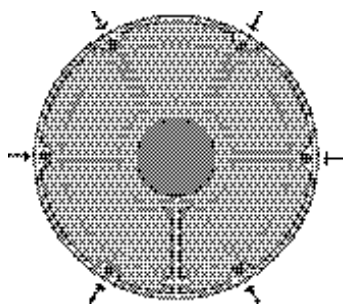
本体に傷がつかないように、梱包材は付けたままにしておくことをお勧めします。本体下部の梱包材のみを解いて、ネジ穴、ソケットパネルなどが表に出るようにします。

ベースプレートは重いため、別の箱に梱包されています。ベースプレートの他に、ネジとAllenキーの入った袋があります。これらが揃っていることを確認したら、図のとおり、本体にベースプレートを取り付けます。



組み立て: BeoLabを梱包材の上に置いたままで、本体底面側を持ち上げ、別の梱包材を下に置きます。

ベースプレートを所定の位置に固定します。ケーブル溝が真下(A)に来るようにすると、ベースプレートのガイドピンが本体下部の受け穴に収まります。この状態で、ベースプレートをネジで(6か所)固定します。



ラバーフットによる高さ調整: 傾いた床に対応するため、BeoLab 1のベースプレートには高さ調節用のラバーフットが6つ付いています(矢印の示す位置にあります)。

この段階でラバーフットを調整する必要はありません。設置後、スピーカー本体が不安定な場合のみ、ラバーフットで調整してください。

## ケーブル配線

BeoLab 1のソケットパネルにはベースプレート越しにアクセスします。

したがって、BeoLab 1を梱包材の上に寝かせたままでケーブルを接続し、2つのスイッチを設定することができます。

このページでは、L・R・LINEスイッチの設定について説明します。Speaker Positionスイッチの設定については、8～9ページを参照してください。

ソケットおよびスイッチの位置については、次のページの概要で説明します。また、ソケットパネル上にはソケットとスイッチを示す目印が付いています。

ヒント：ケーブルはケーブルカバーで束ねて配線することをお勧めします(次ページ参照)。

### バング & オルフセン 製品との接続

BeoLab 1は、同梱のPower Linkケーブル(8ピン)を使用してオーディオ/ビデオシステムと接続します。

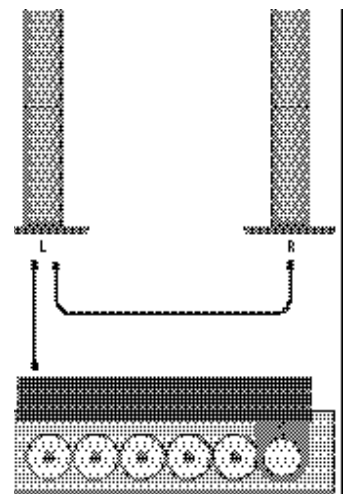
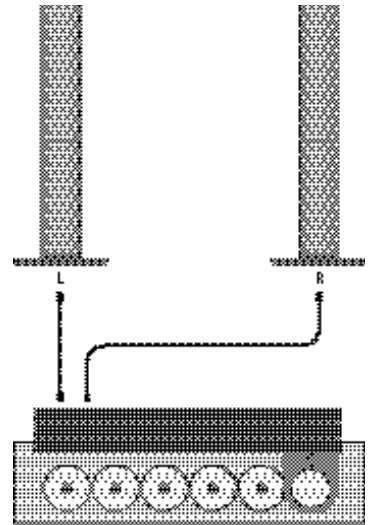
- ケーブルの一端をBeoLab 1のPOWER LINKソケットに差し込み、もう一方の端をオーディオ/ビデオシステムのPOWER LINKソケットのどちらか1つに差し込みます(お買い求めいただいたシステムのマニュアルを参照してください)。
- L・R・LINEスイッチは、LまたはRのどちらかに設定します。  
Lは、左(Left)チャンネルを示します。左側に設置するスピーカーの場合、L・R・LINEスイッチを左端の位置に設定します。  
Rは、右(Right)チャンネルを示します。右側に設置するスピーカーの場合、L・R・LINEスイッチを中央の位置に設定します。

### スピーカー間での信号のループ

左右のスピーカーとシステムを個別に接続するのではなく、スピーカーどうしを接続する(つまり信号をループさせる)こともできます。

- 一方のBeoLab 1スピーカー(図では左側のスピーカー)を、ここまでの説明に従ってシステムに接続します。
- 残りのPower Linkソケットと相手側(図では右側)のBeoLab 1のPower Linkソケットを、Power Linkケーブルで接続します。

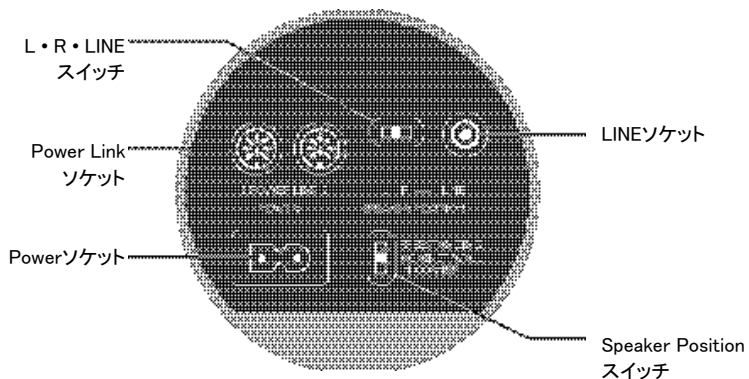
複数組のBeoLab 1スピーカーをシステムに接続することができます(実際には最大10組)。その場合も、スピーカー間をPower Linkケーブルでつなぐだけですみます。ただし、左側スピーカーと右側スピーカーのL・R・LINEスイッチの設定を間違えないよう、注意してください。



## 他社製品との接続

BeoLab 1を(部品番号6270595などのケーブルを使用して)他社製品に接続する場合は、Power Linkソケットではなく、LINEソケット(音響ソケット)を使用する必要があります。信号は、必ず安定化した低電圧レベルに設定します。

- 各音声チャンネルにスピーカーを1つ接続します。
- この場合、両方のスピーカーのL・R・LINEスイッチをLINEに(右端の位置に)設定します。



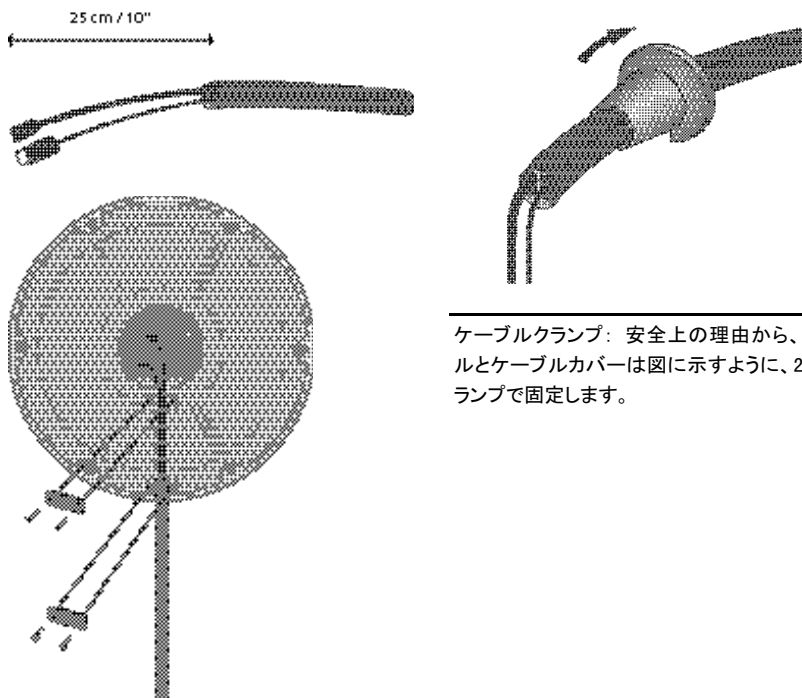
## 電源との接続

同梱の電源コードをPOWERソケットに差し込みます。この時点では、コードのもう一端はまだ壁のソケット(コンセント)には差し込みません。

## ケーブル配線

ケーブルは、同梱のケーブルカバーで束ねてBeoLab 1に接続すると便利です。

ケーブルカバー: 電源コードとPower Linkケーブルをケーブルカバーに収めたら、同梱のツールを使用してケーブルカバーを(ジッパーの要領で)閉じます。



ケーブルクランプ: 安全上の理由から、ケーブルとケーブルカバーは図に示すように、2つのクランプで固定します。

## 設置環境に応じたBeoLab 1の調整

BeoLab 1は、部屋のお好きな場所に設置していただいてもかまいません。しかし、違和感のない、ステレオならではの立体サウンドを重視される方は、このページと次のページで説明するガイドラインに従ってBeoLab 1を設定されることをお勧めします。

スピーカーを条件の悪い場所、たとえば部屋の隅に置いた場合、低音ブーストが発生しがちですが、BeoLab 1にはこの低音ブーストを取り除くためのレベル切り替えスイッチ(Speaker Positionスイッチ)が備わっています。

ご注意: Power Linkケーブルは、左右の音声チャンネルを伝えるため、各スピーカーのL・R・LINEスイッチは正しく設定する必要があります(詳細は6ページ)。

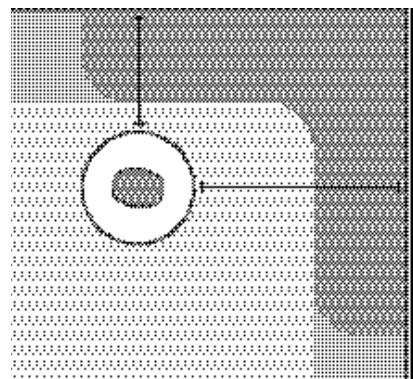
### Speaker Positionスイッチの設定

Speaker Positionスイッチは、BeoLab 1の設置場所(および周囲の環境)に合わせて低音レベルを調整するために使用します。このスイッチで選択すべきフィルタリングレベルは、BeoLab 1と壁の距離およびBeoLab 1と部屋の隅との距離により異なります。

Speaker Positionスイッチで、次の3つのフィルタリングレベルを選択できます。

- FREESTANDING: これはニュートラル設定です。フィルタリングはまったく行われません。この設定は、BeoLab 1を壁から40 cm以上離れたところに配置した場合に適しています(次ページの見取り図では、最も明るいグレーの広い領域に相当)。ただし、BeoLab 1を壁から約1 m以上離さないことをお勧めします。離しすぎると低音成分が発生します。
- AGAINST WALL: この設定は、BeoLab 1を壁から40 cm以内、部屋の隅から130 cm以内のところに配置した場合に適しています(次ページの見取り図では、壁沿いのグレーの領域に相当)。
- IN CORNER: これはフィルタリング効果が最大の設定です。BeoLab 1を部屋の隅に配置した場合に適しています(次ページの見取り図では、最も濃いグレーの領域に相当)。

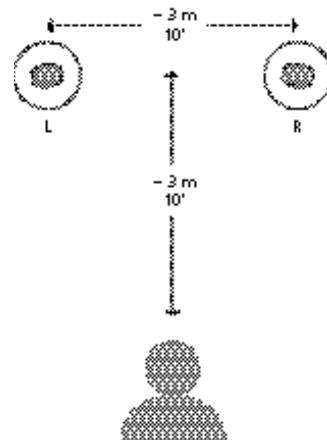
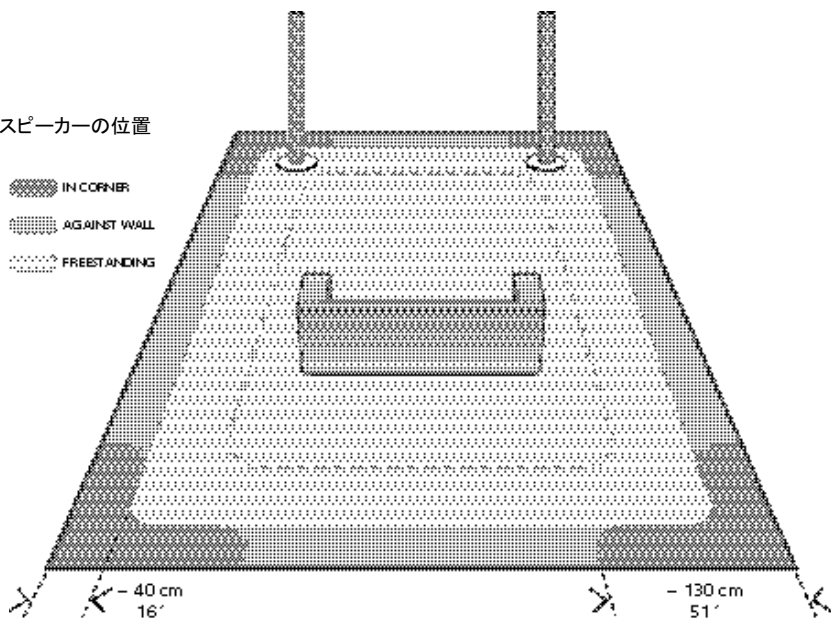
このガイドラインに示す数字および範囲は、あくまでも参考としてお考えください。お好みのサウンドが得られる設定が最適の設定であることは、言うまでもありません。



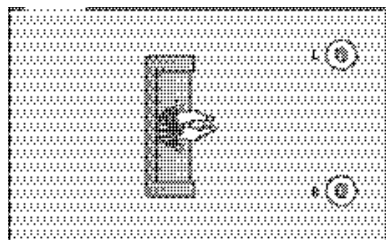
距離の読み方: 壁からの距離および部屋の隅からの距離は、BeoLab 1のベースプレートの端と壁の最短距離です(壁沿いの領域の幅は、BeoLab 1のベースプレートの幅とほぼ同じです)。

スピーカーの位置

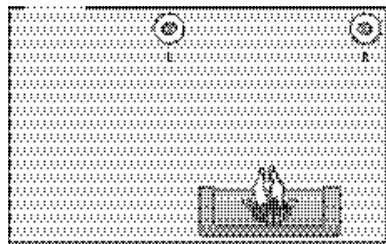
-  IN CORNER
-  AGAINST WALL
-  FREESTANDING



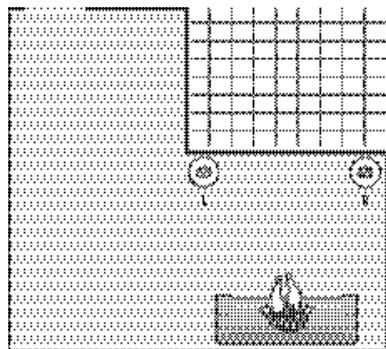
配置/聞き取り位置: 違和感のない最適な立体サウンドが得られるよう、このガイドラインをご参考に、納得のいく聞き取り位置をお探してください。



例1: スピーカーを部屋の一边に配置した場合 (壁との距離は適度にある)  
左右どちらのスピーカーも、Speaker PositionスイッチをFREESTANDINGに設定します。



例2: 左スピーカーを壁際に、右スピーカーを部屋の隅に配置した場合  
右スピーカー: AGAINST WALL  
左スピーカー: IN CORNER



例3: 例2と同様、左スピーカーを壁際に、右スピーカーを部屋の隅に配置した場合 (部屋の形は設定に影響しない)  
左スピーカー: AGAINST WALL  
右スピーカー: IN CORNER

## 使用上のご注意

BeoLab 1のセットアップが完了したら、Bang & Olufsenシステム全体を電源に接続してください。インジケータが赤色に点灯します。これは、BeoLab 1が待機状態にあること、つまりいつでもご使用いただける状態にあることを示します。

BeoLab 1スピーカーは、使用中以外は待機モードになるように設計されています。壁のスイッチでOFFに切り替える必要はありません。

ご注意： BeoLab 1は、スピーカーユニットまたはアンプがオーバーヒートすると保護機能が働くように設計されています。大音響の音楽などを高レベルで一定時間再生し続けるとスピーカーの保護機能が働きます。

### ON/OFF切り替え – インジケータ

音楽システムのスイッチを入れると、BeoLab 1スピーカーのスイッチも入り、インジケータの色が赤から緑に変わります。これは、スピーカーのスイッチがONになったことを示します。

システムのスイッチを切ったり、システムがミュート状態になると、インジケータの色が直ちに赤に変わり、BeoLab 1が待機状態に戻ったことを示します。

BeoLab 1スピーカーは、LINEソケット(音響ソケット)を介して他社製システムに接続した場合、システムからの信号を受信すると自動的にONになり、信号が消えてから数分経つと自動的にOFFになります。

### スピーカーの保護

スピーカーユニットがオーバーヒートすると、BeoLab 1は直ちに音のレベルを下げます。状態が改善されると、音のレベルは徐々に元に戻ります。このように高いレベルで使用し続けると、BeoLab 1は最終的に音を完全に消去(ミュート)します。

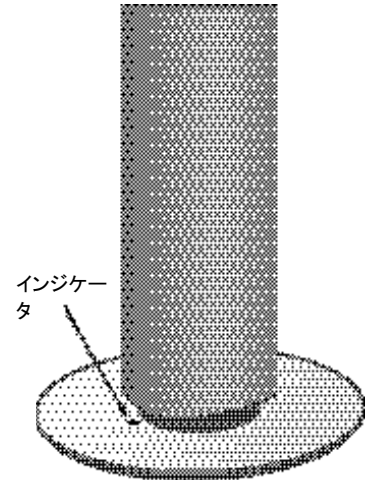
アンプユニットがオーバーヒートすると、BeoLab 1は音のレベルを下げ、音を消します。

BeoLab 1がミュート状態になると、音が徐々に弱まり、インジケータの色が赤に変わります。

オーバーヒート時の対処：

- BeoLab 1を電源から切断します。
- スピーカーおよびアンプが十分に冷却されるまで待ちます。
- BeoLab 1を再び電源につなぎます。

問題が解決しない場合は、Bang & Olufsen製品取り扱い店にご連絡ください。



### BeoLab 1の手入れ

BeoLab 1の表面の汚れは、台所用洗剤などを数滴垂らしたぬるま湯に浸して固く絞った布で拭き取ってください(毛羽のない柔らかい布をご使用ください)。

フロントスピーカーの布に付いた埃は、掃除機の強度を最弱にして吸引してください。

ご注意： アルコールまたはその他の溶剤でBeoLab 1を拭くことは絶対にしないでください。